

明治維新
海軍興起の



松平春嶽所用 筒形望遠鏡
福井市春嶽公記念文庫 当館蔵

松平春嶽と 勝海舟

秋田県立博物館蔵



遭難沈没の根柢を
社以記公靈今茲大正十年五月方本祠陞格五年祭寓舊大
以揭之祠前蓋傳公之雄圖也
子爵 土井利到謹識

岡不崩筆「大野丸圖」(部分) 柳通社蔵 大野市歴史博物館寄託

令和7年 夏季特別展

7.19 土 → 9.7 日

※休館日 8/18(月)~21(木)

【開館時間】 9時~19時 (入場は18時30分まで)

【会場】 福井市立郷土歴史博物館 2F企画展示室

【観覧料】 一般700円/高・大生500円

※中学生以下、70歳以上、障がい者とその介助者は無料

【主催】 福井市立郷土歴史博物館

【後援】 福井新聞社、NHK福井放送局、FBC、福井テレビ、FM福井、
福井ケーブルテレビ、さかいケーブルテレビ、福井街角放送

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井県福井市宝永3丁目12-1 TEL:0776-21-0489

松平春嶽所用
アナロイド気圧計(上)
角度計(左)、方位測定義(右)
福井市春嶽公記念文庫 当館蔵

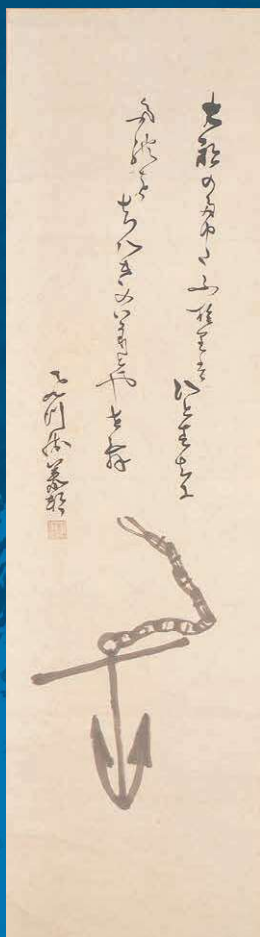


松平春嶽と 勝海舟

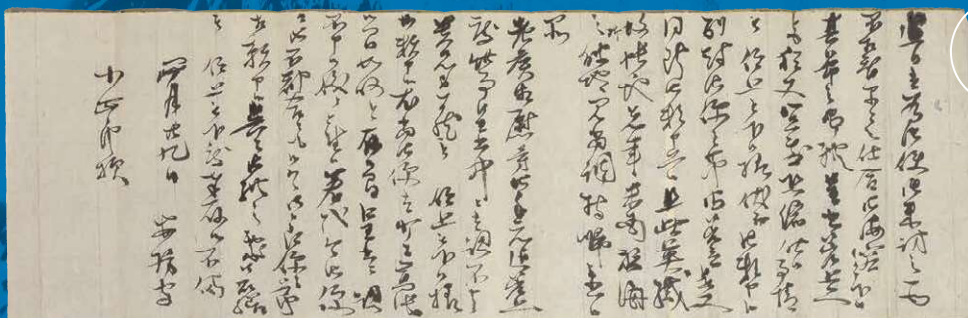
16代福井藩主として「幕末の四賢侯」の一人として、幕末期の激動に正面から立ち向かった松平春嶽。身分や出身にとらわれず多くのの人々の意見に耳を傾け、日本の将来のために至当の選択を模索しました。そんな春嶽の下には、現状を憂うさまざまな知識人・志士たちが集まりました。江戸城無血開城の実現に貢献し、現代の人々からも尊敬を集めている幕臣・勝海舟もその一人です。海舟は文久期の幕政改革で幕府・諸藩の垣根を超えた大海軍の建設を構想し、当時政事総裁職として幕政改革を主導していた春嶽から強い信頼を得ました。春嶽や海舟が目指した大海軍の建設は幕末期には達成できませんでしたが、維新後に明治政府が継承し、海軍の興隆による富国強兵を表現していくことになります。

本展では、海に日本の将来を託した松平春嶽と勝海舟の模索を、福井に遺る書簡・絵画・図面などから紹介します。

- 1・松平春嶽肖像写真(青年期)(福井市春嶽公記念文庫)
- 2・勝海舟(胸像)肖像写真(福井市春嶽公記念文庫)
- 3・勝海舟筆「大船のたゆたふ云々」の和歌賛硯の図幅(福井市春嶽公記念文庫)
- 4・慶応二年四月二十九日荻野小四郎宛勝海舟書簡(当館蔵)
- 5・早坂文嶺筆「米人渡来之図」(部分)(個人蔵、当館寄託)
- 6・松平春嶽所用「イギリス製クロノメーター」(福井市春嶽公記念文庫)



初公開



※「福井市春嶽公記念文庫」は当館蔵の資料です。

◎関連イベント

ギャラリートーク

(担当学芸員による展示解説)

会場：2F 企画展示室

7月20日(日)、7月27日(日)、8月31日(日)、9月7日(日)

各日11:00から50分程度。観覧料が必要です。

見どころ講座

(講師 山田裕輝／当館学芸員)

会場：2F 講堂

8月16日(土) 14:00～15:30

参加費100円、定員60名(当日先着順、予約不要)

